

DREMAX

保証書付

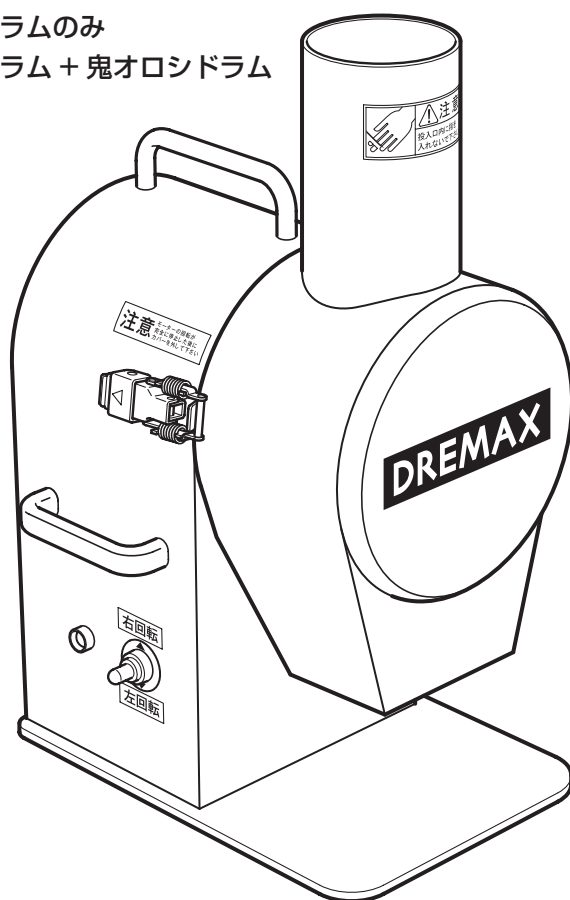
オロシ機

取扱説明書

DX-60X / DX-60Z (鬼オロシ)

DX-60X は中目オロシドラムのみ

DX-60Z は中目オロシドラム + 鬼オロシドラム





- このたびは、**DREMAX オロシ機 DX-60X / DX-60Z** をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解ください。
- 取扱説明書はお読みになられた後、いつでもお手元においてご使用ください。
- 保証書は取扱説明書の裏表紙に記載しております。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ


安全上のご注意	1
各部のなまえ	2
準備をします (部品の取付)	3
正しい使い方	4
お手入れ方法	6
仕様	裏表紙
アフターサービス	裏表紙
愛情点検	裏表紙
保証書	裏表紙


安全上のご注意

- ご使用になる前に内容をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 警告・注意の指示と意味は次のようになっています。

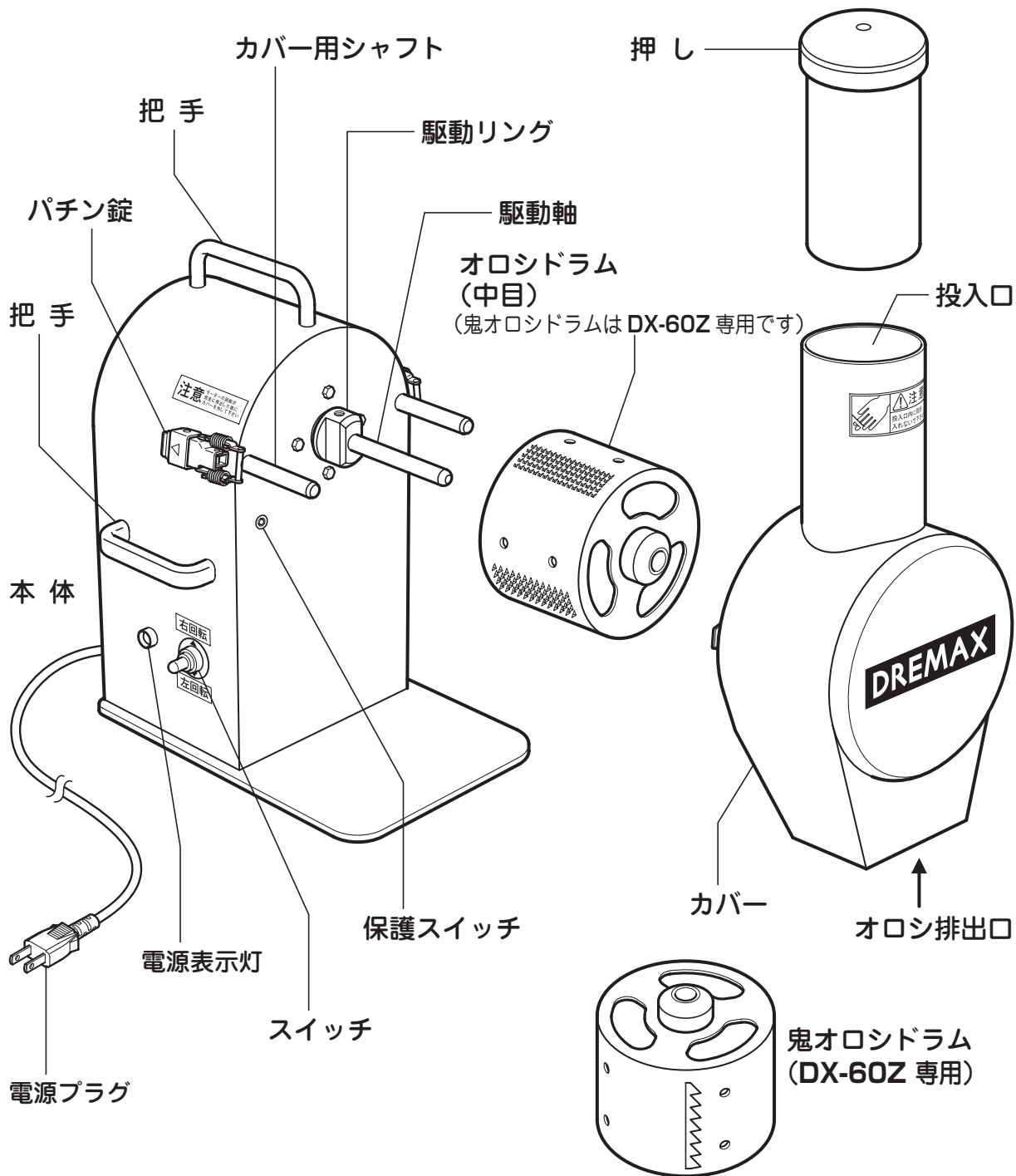
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 警告	
修理技術者以外は、絶対に修理・改造をしないでください。	火災・感電・けがの原因になります。
運転中に本体からカバーをはずさないでください。 (保護スイッチにより機械は停止します。)	けが・破損・故障の原因になります。
運転中、投入口の中には絶対に手を入れないでください。	けがの原因になります。
オロシドラムには鋭利な刃が付いていますので、オロシ部分に手を触れないでください。	けがの原因になります。
部品の取り付け、取り外しおよびお手入れをする際は、スイッチを切り、機械が停止していることを確認して、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	けがの原因になります。
運転中に本体を移動させないでください。	けがの原因になります。
本体および電源コードを水につけないでください。 また、保護スイッチなどの電源部に水をかけないでください。	ショート・感電・故障の原因になります。
子どもに使用させないでください。 また、作業中に子どもを近づけないでください。	けがの原因になります。
保護スイッチを細い棒などで押さないでください。 電源が入ったままだと駆動部が回転して危険です。	けがや故障の原因になります。

 注意	
不安定なところでは使用しないでください。	機械の転倒による破損やけがの原因になります。
交流 100V 以外では使用しないでください。	火災・感電・故障の原因になります。
運転中に投入口の中の食材を 箸や棒で押し込まないでください。 (必ず"押し"を使用してください。)	刃が欠けたり、破損・故障の原因になります。
電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引き抜いたりしないでください。また、電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。	コードが破損し、火災・感電の原因になります。
電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。また、プラグの抜き差しは機械が停止していることを確認してからおこなってください。	ショートや感電による発火、破損・故障・けがの原因になります。
電源コードが傷んでいたり、電源プラグのコンセントへの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。	ショート・感電・発火の原因になります。
ご使用の時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。	絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

各部のなまえ



準備をします (部品の取付)

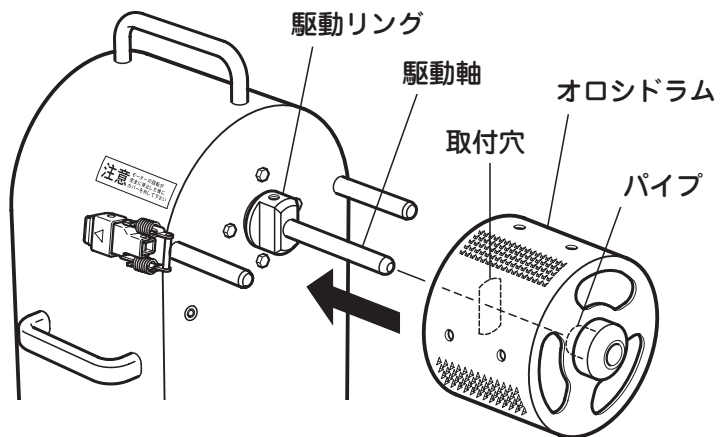
※ 本機を初めて使用する場合は、ご使用になる前に必ず「お手入れ方法」を参照して清掃してからお使いください。

警告

- 部品を取り付ける際は、必ずスイッチを「OFF」にして電源プラグを抜いてください。万一電源が入ると、けがの原因になります。
- オロシドラムには鋭利な刃が付いていますのでオロシ部分を直接持たないでください。けがの原因になります。
- 必ず平らな場所で使用してください。不安定な場所で使用すると機械の転倒による破損やけがの原因になります。

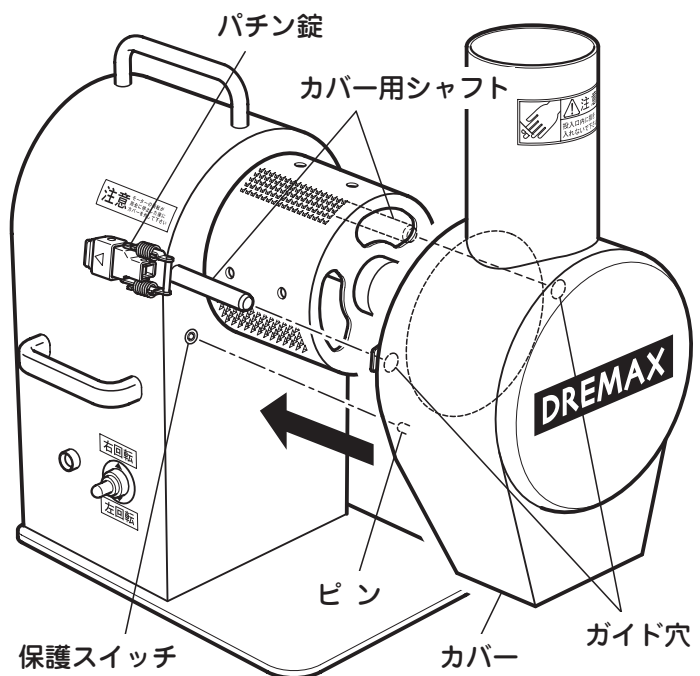
1 オロシドラムを取り付けます

- ① オロシドラムの取付穴を本体の駆動軸に通し、オロシドラム内のパイプに駆動軸を入れます。
- ② 駆動リングの形状に取付穴を合わせて、オロシドラムを奥までしっかりと押し込みます。



2 カバーを取り付けます

- カバー背面のガイド穴を本体のカバー用シャフトに通し、ピンが保護スイッチに入るようにセットして、左右のパチン錠で固定します。



— 保護スイッチについて —

事故を防ぐために、カバーがはずれるとスイッチを入れても作動しません。
ご使用の際は、カバーを正しく装着し、左右のパチン錠を確実に掛けて固定してください。

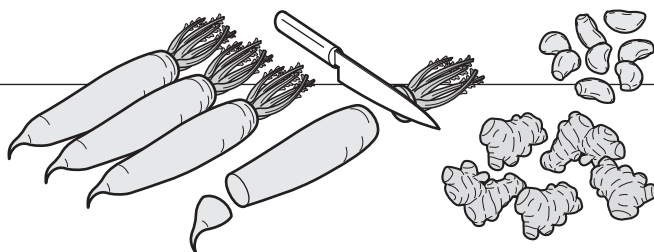
正しい使い方

◆使用前のチェック◆

- ① 本体は平らな場所に置いてありますか？
- ② オロシドラム、カバーは正しく装着されていますか？
- ③ スイッチが「OFF」であることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。（電源表示灯が点灯します。）
- ④ おろした食材を受ける容器をオロシ排出口の下に置いてください。

1 食材を準備します

- ヘタを落とす、皮をむく、投入口に入る大きさに切る等の前処理を食材に応じておこなってください。



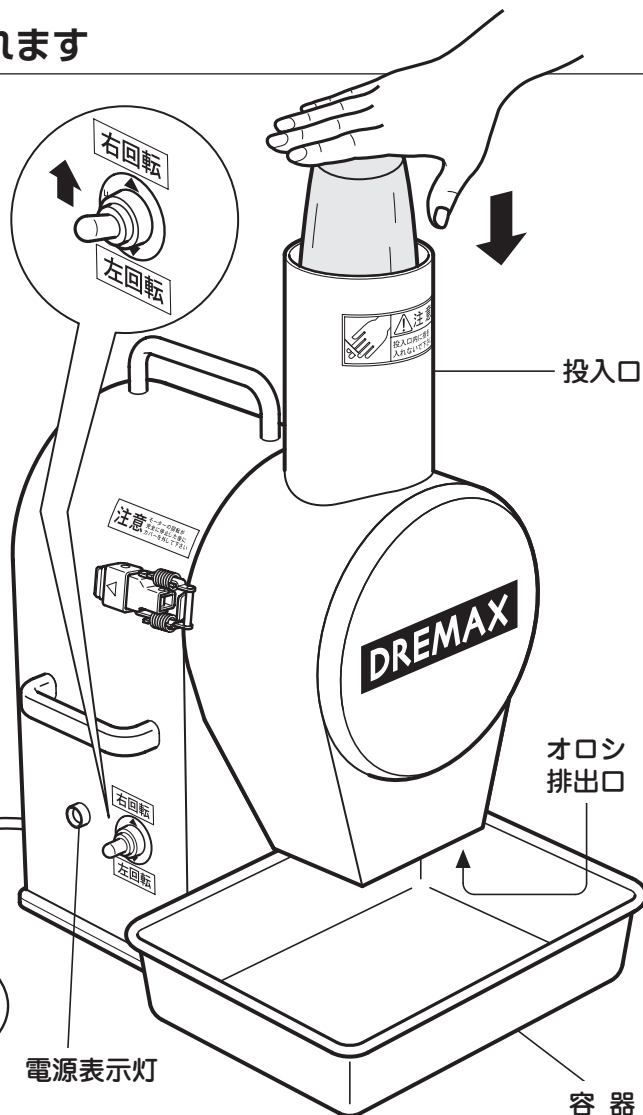
2 食材を入れてスイッチを入れます

大根の場合

- ① 大根を投入口に入れ、手で軽く押さえながらスイッチを上(右回転)に入れます。（通常は右回転で使用します。）大根の自重でおろすことができますので、強く押し付ける必要はありません。
- ② 大根が投入口の中まで入ったら、その上から次の大根を続けて入れます。
- ③ 最後の大根が投入口の中まで入ったら"押し"を使用してください。（次ページ参照）

⚠ 警告

危険ですから投入口およびオロシ排出口の中には絶対に手を入れないでください。
けがの原因になります。



電源プラグ

電源表示灯

オロシ
排出口

容器

3 "押し" を使用します

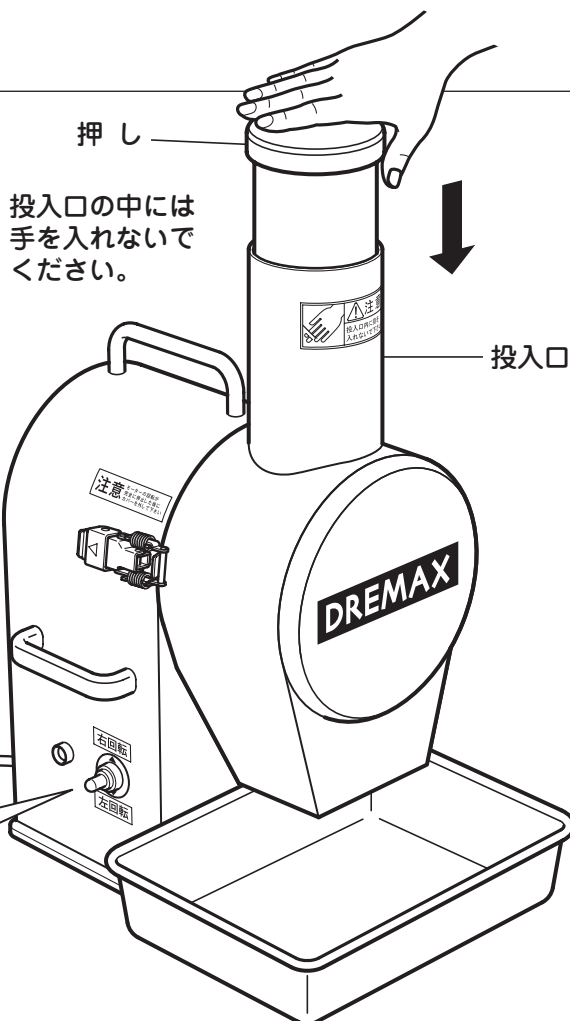
小さい食材の場合

※ 生姜やニンニク等の小さい食材や、短くなった大根をおろす場合は "押し" を使用してください。

- ① 食材を投入口に入れ、"押し" を軽く押し付けながらスイッチを上 (右回転) に入れます。(通常は右回転で使用します。)
- ② 量を加減しながら、食材を連続投入します。

⚠ 警告

投入口およびオロシ排出口の中に手を入れて押し込まないでください。けがの原因になります。
また、箸や棒で押し込まないでください。破損、故障の原因になります。



◆ スイッチの切り替えについて ◆

- ◎ 生姜などの繊維のきつい食材をおろす場合、途中でスイッチを切り替えて回転方向を変えると、きれいにおろすことができます。(運転開始時は右回転から始めてください。)
- ※ スイッチを切り替える場合は、一旦「OFF」に戻して回転を停止させてから反対側に入れてください。(停止させずに切り替えても回転方向は変わりません。)

4 作業が終わったらスイッチを「OFF」にします

- 必要に応じて電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 複数のオロシドラム (別売品) をお持ちの方は、目的に応じてご使用ください。交換のしかたは、3 ページを参照してください。
- 長時間の連続使用でモーターの温度が上がり過ぎますと、プロテクターが働いて自動的に機械が停止することがあります。その場合はスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、30 分程度ご使用を休止してください。

お手入れ方法

ご使用後は、付着した食材が乾いてこびりつく前によく洗浄して取り除いてください。
洗い残しが故障の原因になることがあります。

1 電源プラグを抜きます

- 必ずスイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源表示灯が消灯します。)

2 各部品を本体からはずしてお手入れをします

- ① パチン錠を解除してカバーをはずし、オロシドラムをはずします。
- ② カバー、オロシドラム、押しを水洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭き取ってください。

警告

オロシドラムを洗うときはブラシ等を使用してください。
素手で洗うとけがの原因になります。

- ③ 本体は駆動軸、駆動リング付近だけを水洗いしてください。このとき、保護スイッチに水が掛からないように指で押さえながらおこなってください。
- ④ 本体の外装は濡れ布巾等で全体をきれいに拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。

注意

- 本体を丸洗いしないでください。後側から水を掛けたり、水に浸すと故障の原因になります。
- 保護スイッチに水が掛からないように注意してください。故障の原因になります。

- ⑤ お手入れ後は、各部品を正しく取り付けてください。
取り付けかたは3ページを参照してください。

